

# 0歳児からのひとづくりプログラム (概要版)

平成30年3月策定  
津和野町教育委員会

## 第1章 序説

### 1 プログラム策定の趣旨

津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、保育所・学校、家庭、地域、行政が一体となって取り組む教育環境の整備について具体的施策をより充実、促進するための計画です。

### 2 プログラム策定の前提

津和野町教育ビジョンの基本理念に基づき、0歳児から教育的視点を持った各種施策を行うとともに、保育施設・小学校・中学校・高等学校の校種の壁を超え、系統性のある教育体制の構築を図る。

具体的施策を検討する上で、以下の3点を柱としたプログラムを策定し、推進します。

#### ①「タテの連携」

0歳から18歳まで系統性のある教育環境づくり

#### ②「ヨコの連携」

開かれた保育所・学校と家庭・地域・行政が連携した教育環境づくり

#### ③「0歳からの学び」

人生の基礎となる0歳から就学前の幼児教育の充実と親になるための学びの環境づくり

### 3 プログラムの期間

平成30年度から令和4年度の5ヵ年

## 第2章 国・県・町の動向

### <国の方向性>

#### 【学習指導要領改訂の基本的な考え方】

- 「社会に開かれた教育課程」を重視。
- 知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。
- 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

### <県の取り組み>

#### 【しまね教育ビジョン 21】

「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」

1. 向かっていく学力 「夢や希望に向って主体的に学ぼうとする人」
2. 広がっていく社会力 「多様な人と積極的にかかり、社会に役立とうとする人」
3. 高まっていく人間力 「自他を等しく大切にし、共に生きようとする人」

### <町の取り組み>

津和野町教育ビジョンを平成 24 年 3 月に策定

### 【津和野町教育ビジョン】

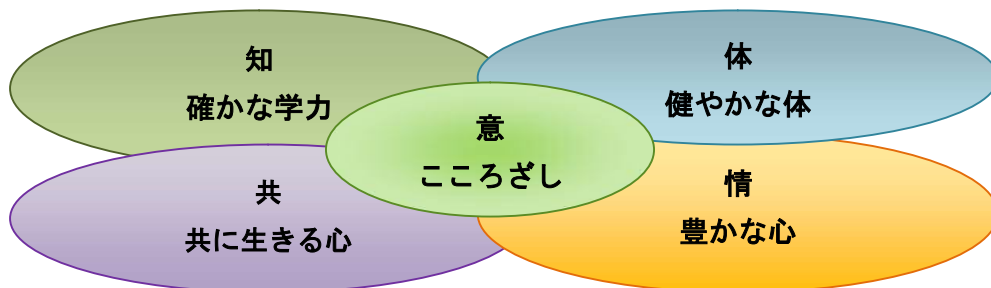
#### スローガン

「学ぶ心を育て文化の薫り高いまちづくり」

### 基本理念

自立心と公共心に富み、自然とふるさとを愛し、共に生きる力を持って自らの人生と郷土・国家・世界の未来を切り拓く「津和野人」の育成

○生きる力をはぐくむ5つのキーワード



## 第3章 実施計画

<スローガン>

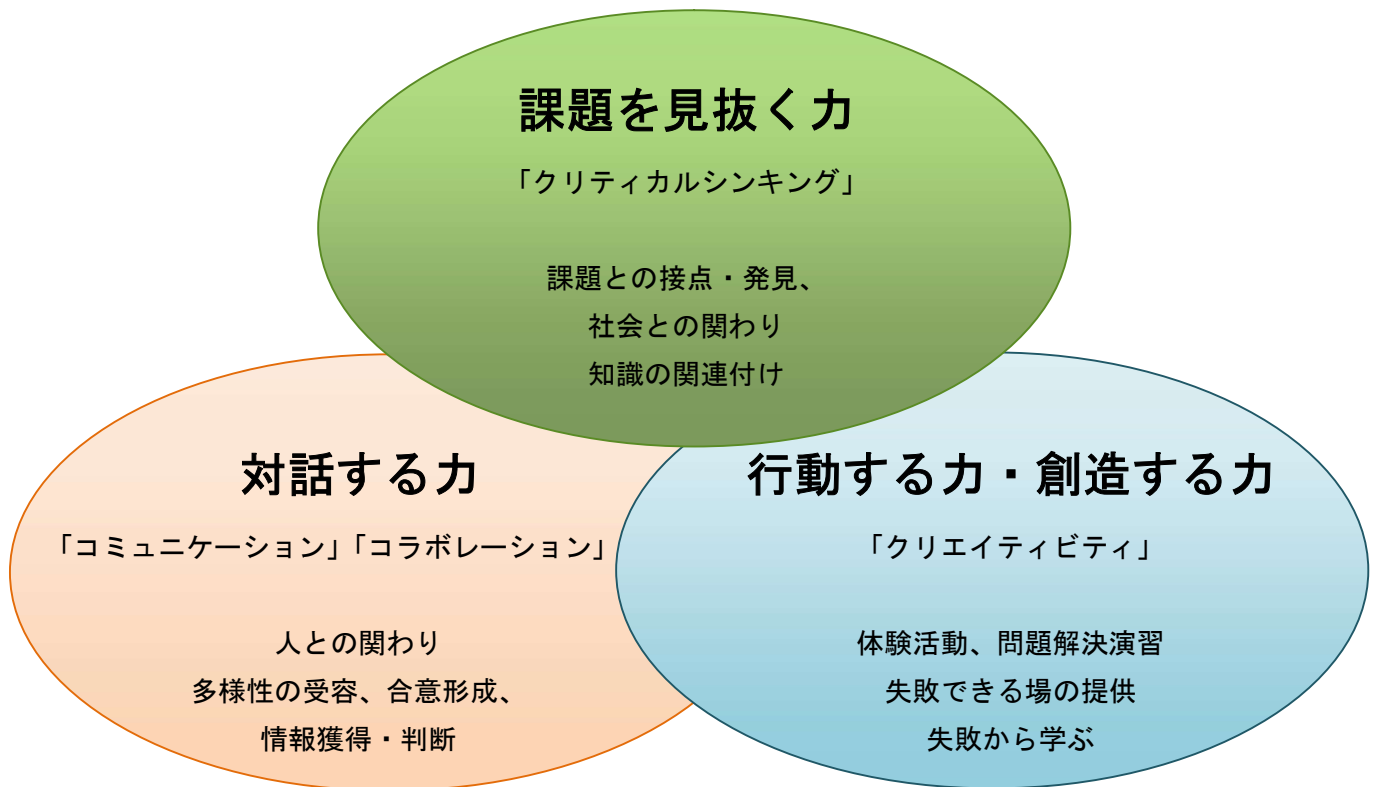
「自ら学び続ける」地域総ぐるみによる0歳児からのひとづくり

～学び続ける・問い続ける・変わり続ける町～

### 1 基本的な考え方

子どもたちに常に主体的に学ぶことの重要性や楽しさを伝え、ふるさとの資源を生かした学びの場を提供することで、そこに关わるおとなも含めた全ての人が自ら学び続ける町を目指す。

### 2 育てたい力



## 各年代で目指す子ども像と身につけさせたい力

### 0歳～2歳（乳児期～幼児前期）

- ・身近な大人との関わりを楽しめる子ども
- ・自分の感情を表現できる子ども

### 3歳～5歳（幼児後期）

- ・豊かな感性と創造性にあふれた子ども
- ・よく考えて行動し思いやりのある子ども

### 小学校低学年～中学年（児童期）

- ・自分や相手の良さに気づくことができる人
- ・やるべきことがきちんとできる人

### 小学校高学年～中学1年（学童期）

- ・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮しようとする人
- ・他者を尊重しながら、役割を果たそうとする人

### 中学2年～中学3年（青年期）

- ・自分を知り、目標に向かって粘り強くやり抜こうとする人
- ・自他を尊重し、協力して課題に取り組む人

### 高校（青年期）

- ・自分の will や志を持ち、粘り強く実現しようとする人
- ・社会の課題に関心を持ち、アクションを起こす人

### 3 今後の取り組み

#### a. タテの連携

- ① 保小中高までつながる系統的な学習プログラムの実施
  - 例) ・町の偉人や自然・文化や地域課題を意識した総合学習の検討
  - ・町の偉人や自然などの津和野の魅力を生かした授業コンテンツの検討
- ② 教育関係者の連携促進、情報共有や対話の機会提供
  - 例) ・保小中高合同教育研修会の実施
  - ・魅力化コーディネーターの配置と連携促進
- ③ 保小中高生間の交流促進・協働の機会の提供
  - 例) ・高校生による小・中学生の学習サポート
  - ・地域行事、地域活動への参加

#### b. ヨコの連携

- ① 地域住民の教育参加の推進
  - 例) ・地域住民が教育に関する話し合いの場づくり
  - ・大人と子どもが共に学ぶ教育フォーラムの実施
  - ・まちづくり委員会との連携・教育支援
- ② 公民館を軸とした地域と学校の連携・協働促進
  - 例) ・教員、住民、公民館との話し合いの機会提供
  - ・中高生ボランティアチームなどの行動する場づくり
- ③ 地域の教育資源の活用
  - 例) ・キャリア教育系人材リストによる教育資源の見える化
  - ・まち親など地域住民の教育支援サポーターの組織化

#### c. 0歳からの学び

- ① 親の学びの機会や交流の場の提供
  - 例) ・子育て支援センターを活用した親の学びの場作り
  - ・乳幼児期向けの親学プログラムの実施
- ② 乳幼児期からの体験活動の充実と体力向上
  - 例) ・子育て支援センター等での活動の充実
  - ・乳幼児向けの体験活動の機会提供
- ③ 保育所間の連携・交流や保育所と地域の連携の活性化及び情報発信
  - 例) ・幼児教育コーディネーターの配置と連携支援
  - ・保育所合同研修会や対話の機会提供